

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.8
Q1 室内環境								-
1 音環境								-
1.1 騒音								-
	1 暗騒音レベル			3.0				
	2 設備騒音対策							
1.2 遮音								
	1 開口部遮音性能			3.0				
	2 界壁遮音性能			3.0				
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0				
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0				
1.3 吸音				3.0				
2 温熱環境								-
2.1 室温制御								
	1 室温設定			3.0				
	2 負荷変動・追従制御性							
	3 外皮性能			3.0				
	4 ゾーン別制御性			3.0				
	5 温度・湿度制御							
	6 個別制御							
	7 時間外空調に対する配慮							
	8 監視システム							
2.2 湿度制御				3.0				
2.3 空調方式				3.0				
3 光・視環境								-
3.1 昼光利用								
	1 昼光率			3.0				
	2 方位別開口			3.0				
	3 昼光利用設備			3.0				
3.2 グレア対策								
	1 照明器具のグレア							
	2 昼光制御			3.0				
3.3 照度								
	1 照度			3.0				
	2 照度均斉度							
3.4 照明制御				3.0				
4 空気環境								-
4.1 発生源対策								
	1 化学汚染物質			3.0				
	2 アスベスト対策							
	3 ダニ・カビ等							
	4 レジオネラ対策							
4.2 換気								
	1 換気量			3.0				
	2 自然換気性能			3.0				
	3 取り入れ外気への配慮			3.0				
	4 給気計画							
4.3 運用管理								
	1 CO ₂ の監視							
	2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能			0.43					4.3
1 機能性								-
1.1 機能性・使いやすさ								
	1 広さ・収納性			3.0				
	2 高度情報通信設備対応			3.0				
	3 バリアフリー計画			3.0				
1.2 心理性・快適性								
	1 広さ感・景観			3.0				
	2 リフレッシュスペース			3.0				
	3 内装計画			3.0				
1.3 維持管理								
	1 維持管理に配慮した設計							
	2 維持管理用機能の確保							
2 耐用性・信頼性			4.2		0.52			4.2
2.1 耐震・免震			5.0		0.48			
	1 耐震性	損傷限界設計を採用	5.0		0.80			
	2 免震・制振性能	免震装置の導入	5.0		0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.3		0.33			
	1 躯体材料の耐用年数	品確法の等級2に該当	4.0		0.23			
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0		0.23			
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0		0.09			
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0		0.08			
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	消火、通気管にC以上を使用	4.0		0.15			
	6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0		0.23			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			3.8	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	汚水槽の計画、井水の利用	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	受電設備の二重化、浸水防止の対策実施、非常用発電機設置	5.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信多様化に対応、浸水防止の対策実施	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			4.4	0.48	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高6.7m	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	コア部分の壁以外、倉庫内に「耐力壁」を一切設けていない	5.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		倉庫・バース・ランプ部分は積載荷重15000N以上	5.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性	天井裏・EPS内にラック設置、区画貫通部分は箱抜き耐火処理	5.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性	ケーブルラックや配管配線を採用	5.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース	バックアップ設備のスペースを確保	4.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		十分な緑地と植栽本数、野鳥や昆虫の生息に適した樹種選定	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	建物を敷地境界からセットバックし、多くの緑地を確保	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電の利用	4.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		CEC(L)=0.46 ERR=46.1	5.0	0.43	-	-	5.0
4 効率的運用			4.0	0.29	-	-	4.0
4.1	モニタリング	電力監視システムを設置し、電力量を計測	4.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	目標値に対してデマンド監視し報告できる体制	4.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			4.2	0.15	-	-	4.2
1.1	節水	小便器・洗面に自動水栓、一般水栓に節水型器具を使用	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		4.3	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	井水の利用(20%以上)	5.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63	-	-	4.2
2.1	材料使用量の削減	高強度の材料使用、プレストレストコンクリート・免震の採用	4.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭・高炉セメント(コンクリート)	4.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート・磁器質タイル・グリーン調達、岩綿吸音板・Iマーク商	5.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上りが容易に分離可能、ALC板・石膏ボードの乾式工法	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-	3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含まない建材を採用(3種)	4.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率が、参照値に対して84%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1
2.1	大気汚染防止	燃焼系機器不使用	5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善	外壁後退により隣棟間隔を確保、屋根・外壁は高反射率材を使用	4.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	周辺負荷影響を検討、十分な駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	分別方法を規定、業者による定期的な回収	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	高効率の外灯照明器具設置、タイマー等で点滅時間を管理	4.0	0.70	-	-	-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-